

# わかった！できた！



令和2年8月17日 No.9

## ○第2回校内研修を行いました。

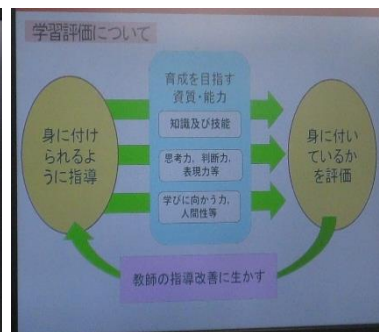
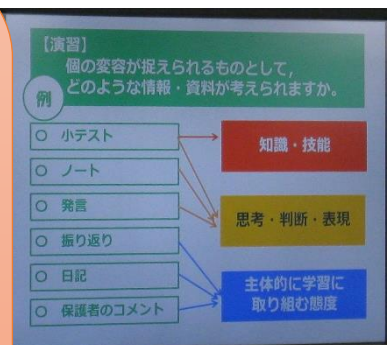
7月28日（火）に、学力フォローアップ校事業の第2回校内研修を行いました。今回は11月に予定している研究会に向け、フォローアップ対象児童のつまずきの要因分析から具体的手立てを考えるとところまでの研修を行いました。3つのグループ（1年生・2年生・3年生）に分かれ、児童の日頃の様子や単元テストの解答状況、日記や図工の作品など、様々な面から児童の事態を把握し、児童がつまずくであろう場面を思い浮かべながら、手立てを考えていきました。先生方のこれまでの経験からたくさんの意見を出し合うことができました。また、特別支援学級の先生方からは、特別支援の視点から専門的なアドバイスをいただくこともできました。

今回考えていただいた児童のつまずきの要因分析と手立てをもとにして、研究会に向けて授業づくりをしていきたいと思えます。

また、広島県教育委員会義務教育指導課より濱本飛鳥指導主事に来ていただき、学力フォローアップ校事業が3年目を迎えるあたり、本事業の趣旨を確認するとともに、3年目の役割についてお話をいただきました。また、新学習指導要領に関わって、学習評価の重要性についてもお伝えいただき、改めて教員が指導したことに対する評価を意識することの重要性を感じました。

### 学力フォローアップ校事業3年目の役割

- ・他の学校で取り入れたいような実践を発信すること
- ・指定校でなくなった4年目にも継続されいく取組であること
- ・児童の実態に沿った支援をどのような効果があったのかを発信すること
- ・これまで積み重ねてきた教職員の知恵を発信すること
- ・課題が次に生きるようになる研修にすること



### 学習評価について

- ・学習評価とは、授業をした人しかできない評価のことである。過程を大切に評価してほしい。
- ・成功だけを追求するのではなく、失敗から学び追及することも重要である。
- ・多面的な評価ができるように意識する。
- ・指導したことに対して評価できるように指導者が認識することが重要である。
- ・新学習指導要領に則した学習評価を実践してほしい。

